

日本農芸化学会中四国支部若手研究者交流シンポジウム
微生物と植物の統合的研究から生まれる
イノベーションを目指して

日時：平成22年10月30日（土）13：30～17：00
場所：島根大学生物資源科学部1号館101講義室

13:30-13:35 開会挨拶

座長：戒能智宏

13:35-14:05 川本仁志（株式会社海産物のきむらや主任研究員）

新規フコイダン資化性微生物およびアルギン酸分解菌の特性について

14:05-14:35 岡田憲典（東京大学生物生産工学研究センター助教）

イネの病害抵抗性反応を利用した有用イソプレノイド生産の可能性

座長：松尾安浩

14:35-15:05 石川孝博（島根大学生物資源科学部教授）

植物アスコルビン酸の謎に迫る～生合成の多様性と調節機構～

15:05-15:25 休憩

15:25-15:55 田中克典（関西学院大学理工学部教授）

SUMO化修飾機構～酵母と植物を用いたアプローチ～

座長：石川孝博

15:55-16:25 中川 強（島根大学総合科学研究支援センター教授）

Gateway技術を用いた植物遺伝子機能解析システムの開発と応用

16:25-16:55 川向 誠（島根大学生物資源科学部教授）

分裂酵母の優位性を活用したイノベーション研究を目指して

16:55-17:00 閉会挨拶

（発表25分、質疑応答5分）

世話人

戒能智宏（代表世話人）（島根大学生物資源科学部准教授）

石川孝博（島根大学生物資源科学部教授）